

東京農工大学動物実験計画書

東京農工大学学長 殿

■ 新規 □ 変更・年度更新

提出年月日 2014年 6月 24日 受付年月日 2014年 6月 24日 受付番号 26-53

研究課題	獣医学科 臨床検査学実習
-------------	--------------

研究目的	獣医学科の臨床実習として、身体検査や検査の実習を実施する。
-------------	-------------------------------

動物実験責任者名 (選択項目を■)	フリガナ タナカ アカネ	部局名	職	動物実験の経験等
氏名	田中 あかね	農学研究院	教授	教育訓練受講の■有□無
e-mail	[REDACTED]	連絡先TEL: [REDACTED]		
動物実験実施者名 (括弧内にフリガナ、 選択項目を■)	田中 あかね (タナカ アカネ)	農学研究院	教授	教育訓練受講の■有□無
	[REDACTED]	連絡先TEL: [REDACTED]		
	[REDACTED] ([REDACTED])	農学研究院	[REDACTED]	教育訓練受講の■有□無
	[REDACTED]	連絡先TEL: [REDACTED]		
	松田 浩珍 (マツダ ヒロシ)	農学研究院	教授	教育訓練受講の■有□無
	[REDACTED]	連絡先TEL: [REDACTED]		
	[REDACTED] ([REDACTED])			教育訓練受講の□有□無
[REDACTED] @ [REDACTED]		連絡先TEL: [REDACTED]		
[REDACTED] ([REDACTED])				教育訓練受講の□有□無
[REDACTED] @ [REDACTED]		連絡先TEL: [REDACTED]		

実験実施期間	承認後 ~ 20(14)年 11月3日	中止・終了等	20()年 月 日
---------------	---------------------	--------	------------

飼養保管施設 及び 実験室	飼養保管施設	実験室	[REDACTED]
----------------------	--------	-----	------------

使用動物	動物種	系統	性別	匹数	微生物学的品質	入手先(導入機関名)	備考
	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]

研究計画と方法	<p>研究概要 (研究計画と方法について、その概要を記入する。)</p> <p>獣医師の卒後教育プログラム(平成19年度文部科学省採択授業、平成22年度より本学の公開講座として運営中)における身体検査や外科手術の実習</p> <p>実験方法 (動物に加える処置、使用動物数の根拠を具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせる。)</p> <p>イヌを使用して実施するのは、獣医学科の4年生が履修する臨床検査学実習である。</p> <p>○一般臨床検査では、視診、聴診、触診、血液検査に加えて、眼科検査や神経学的検査を行う。</p> <p>上記の検査学実習は、鎮静・麻酔等の処置が必要ない、苦痛を与えないものである。</p> <p>飼い主のいる動物に対する検査に準じて、動物愛護に配慮して取り扱う。</p> <p>飼育室の衛生管理、飼養、散歩などに十分配慮して飼育する。</p>
----------------	--

特殊実験区分 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/> 1. 感染実験 安全度分類: <input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3 <input type="checkbox"/> 2. 遺伝子組換え動物使用実験 区分: <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A <input type="checkbox"/> 3. 放射性同位元素・放射線使用実験 <input type="checkbox"/> 4. 化学発癌・重金属実験		
動物実験の種類 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/> 1. 試験・研究 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 教育・訓練 <input type="checkbox"/> 3. その他	動物実験を 必要とする理由 (選択項目を■)	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった。 <input type="checkbox"/> 2. 検討した代替手段の精度が不十分だった。 <input type="checkbox"/> 3. その他(理由:)

想定される 苦痛のカテゴリー (選択項目を■)	<input checked="" type="checkbox"/> B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。 <input type="checkbox"/> C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 <input type="checkbox"/> D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 <input type="checkbox"/> E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い またはそれ以上の痛みを与えようと思われる実験。
動物の苦痛軽減、 排除の方法 (該当項目をすべて■)	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。 <input type="checkbox"/> 2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。 <input type="checkbox"/> 3. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。 <input type="checkbox"/> 4. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。 <input type="checkbox"/> 5. その他(具体的に記入:)
安楽死の方法 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/> 1. 麻酔薬等の使用(具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入:) <input type="checkbox"/> 2. 炭酸ガス <input type="checkbox"/> 3. 中枢破壊(具体的に記入:)法) <input checked="" type="checkbox"/> 4. 安楽死させない(その理由を記入: 以降の実験動物学実習など、学生の教育に供するため。) <input type="checkbox"/> 5. その他(具体的に記入:)
動物死体の処理方法 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/> 1. 外部業者に依頼 <input type="checkbox"/> 2. その他(具体的に記入:)
その他必要または 参考事項	(過去の動物実験計画書承認実績、学内の関連委員会への申請状況、飼養保管施設・実験室の承認状況、実験動物の週齢などを記入する。) 当数のイヌについては承認番号: 第 24-96 号「高純度軟水用いたシャンプー療法のイヌ皮膚に及ぼす影響」での使用がすでに許可され導入・飼育しているものです。

委員会記入欄	審査終了: 20(14)年 7月 4日
	修正意見等
	審査結果 ■ 本実験計画は、東京農工大学における動物実験規程等に適合する。 (条件等 <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え実験安全委員会の承認後、実験を開始すること。) <input type="checkbox"/> 本実験計画は、東京農工大学における動物実験規程等に適合しない。

学長承認欄	承認: 20(14)年 7月 4日
	本実験計画を承認します。 承認番号: 第 26-53 号 東京農工大学長 (法人印省略)